



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 日本コークス工業株式会社  
 コード番号 3315 URL <https://www.n-coke.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿毛 和哉

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 山下 伸一

TEL 03-5560-1311

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	87,883	18.2	6,999	335.3	6,452	552.1	3,968	
2020年3月期	107,408	11.4	1,607	75.9	989	83.2	28	99.1

(注) 包括利益 2021年3月期 4,208百万円 ( %) 2020年3月期 162百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	13.63		8.1	6.2	8.0
2020年3月期	0.10		0.1	0.9	1.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	102,151	51,106	50.0	175.61
2020年3月期	106,304	47,188	44.4	162.14

(参考) 自己資本 2021年3月期 51,106百万円 2020年3月期 47,188百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	15,503	5,859	7,804	5,645
2020年3月期	6,460	6,644	7,341	3,806

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		1.00	1.00	291	1,000.0	0.6
2021年3月期		0.00		4.00	4.00	1,164	29.3	2.4
2022年3月期(予想)				4.00	4.00		29.9	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	11.8	4,400	195.3	4,000	243.1	2,500	343.3	8.59
通期	91,000	3.5	7,500	7.2	6,800	5.4	3,900	1.7	13.40

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	302,349,449 株	2020年3月期	302,349,449 株
期末自己株式数	2021年3月期	11,320,765 株	2020年3月期	11,319,727 株
期中平均株式数	2021年3月期	291,029,253 株	2020年3月期	291,030,274 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	79,189	18.6	6,483	806.7	6,058		3,802	
2020年3月期	97,274	12.8	715	87.5	257	95.0	378	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	13.07	
2020年3月期	1.30	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	96,036	48,004	50.0	164.95
2020年3月期	99,704	44,284	44.4	152.16

(参考) 自己資本 2021年3月期 48,004百万円 2020年3月期 44,284百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	15
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
5. その他 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、一年以上に亘る新型コロナウイルス感染症の流行などにより、厳しい状況におかれました。また、先行きについては、各種政策の効果や海外経済の改善による持ち直しの動きを期待できるものの、感染症の動向による内外経済への影響には十分注意する必要があります。

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症による影響は現段階では限定的ではありますが、緊急事態宣言が再々発令されるなど、予断を許さない状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前期に比べコークス販売価格の下落などにより、当期の連結売上高は、前期比195億2千4百万円減少の878億8千3百万円となりました。

利益面では、利幅の拡大や原価削減などにより、連結営業利益は、前期比53億9千1百万円増加の69億9千9百万円、連結経常利益は、前期比54億6千2百万円増加の64億5千2百万円となりました。

特別損益につきましては、固定資産売却益などによる特別利益6千4百万円に対し、固定資産除却損などにより、特別損失9億1千8百万円を計上いたしました。

これより、法人税等を差し引き、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比39億3千9百万円増加の39億6千8百万円となりました。

### セグメントの概況

#### ①コークス事業

コークス事業につきましては、当社グループの販売数量は、187万5千トンと前期比4万1千トンの減少となり、販売価格も、コークス製品市況の下落などにより、減収となりました。

利益につきましては、利幅の拡大や原価削減などにより、増益となりました。

この結果、コークス事業の連結売上高は、前期比125億9百万円減少の559億5千万円となり、連結営業利益は54億1千1百万円（前期は8億1千1百万円の営業損失）となりました。

#### ②燃料販売事業

燃料販売事業につきましては、当社グループの販売数量は、主要顧客の稼働率減などがあり、128万6千トンと前期比23万1千トンの減少となり、取扱数量減により販売価格も減収となりました。

この結果、燃料販売事業の連結売上高は、前期比55億9千6百万円減少の174億9千4百万円となり、連結営業利益は、前期比3億4千8百万円減少の13億7百万円となりました。

#### ③総合エンジニアリング事業

化工機事業につきましては、利益率の改善などにより、増収となりました。

資源リサイクル事業につきましては、廃棄物の有効利用と適正処理に引き続き傾注し、安定的な収益を維持しました。

産業機械事業につきましては、主要顧客の取引減少などにより、減収となりました。

この結果、総合エンジニアリング事業の連結売上高は、前期比8億9千3百万円減少の102億1千9百万円となり、連結営業利益は、前期比1億5千5百万円減少の14億3千5百万円となりました。

#### ④その他

その他の事業につきましては、不動産事業での土地売却減少などにより、減収となりました。

この結果、その他の事業の連結売上高は、前期比5億2千4百万円減少の42億2千万円となり、連結営業利益は、前期比2億5千5百万円減少の3億7千7百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、1,021億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億5千2百万円減少となりました。増減の主なものは、原材料及び貯蔵品の減少25億2千5百万円、受取手形及び売掛金の減少10億2千8百万円、商品及び製品の減少9億6千7百万円等であります。

当連結会計年度末の負債は、510億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億7千万円減少となりました。増減の主なものは、流動負債「その他」の増加17億8千1百万円、長期借入金の減少68億4千9百万円、支払手形及び買掛金の減少34億9百万円等であります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、39億1千7百万円増加の511億6百万円となりました。また、当連結会計年度末の自己資本比率は、50.0%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、18億3千9百万円増加の56億4千5百万円となりました。

当連結会計年度末におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、155億3百万円（前年同期比90億4千3百万円増加）となりました。

これは主に、減価償却費60億1千5百万円、たな卸資産の減少額33億9千6百万円、未払消費税の増加額10億9千8百万円などによる資金の増加に対し、仕入債務の減少額34億9百万円、受注損失引当金の減少額2億6千5百万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、58億5千9百万円（前年同期比7億8千5百万円減少）となりました。

これは主に、固定資産の取得による支出56億9百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、78億4百万円（前年同期比4億6千2百万円増加）となりました。

これは主に、短期借入による収入205億2千万円に対し、短期借入金の返済による支出211億5千万円、長期借入金の返済による支出70億6千7百万円などによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	37.8	40.1	39.4	44.4	50.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	24.8	27.6	23.8	16.7	32.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	7.3	3.4	3.6	4.6	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	10.8	22.2	26.1	17.8	55.3

※ 自己資本比率：(純資産－非支配株主持分－新株予約権) / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

(注1) 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の動向などによる内外経済への影響には十分注意する必要がありますものの、当社の中核であるコークス事業が引き続き堅調に推移する見通しであり、2021年度連結業績予想は、売上高910億円、営業利益75億円、経常利益68億円、親会社株主に帰属する当期純利益39億円としております。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分に関する基本方針につきましては、株主の皆様への還元ならびに将来の安定的な収益基盤確立のために必要な投資や財務体質強化のための内部留保水準について、業績および財務の状況を総合的に勘案したうえで適切に配分することとしております。

また、株主の皆様への利益還元につきましては、上記の方針を踏まえつつ、継続的且つ長期安定的な配当を実施することが重要な課題であると認識しております。

従いまして、当期の期末配当につきましては、当社の中核であるコークス事業の利益が改善したことなどにより、1株当たり4円といたします。

また、次期の配当につきましては、前述の2021年度連結業績予想を踏まえ、引き続き1株当たり4円としております。

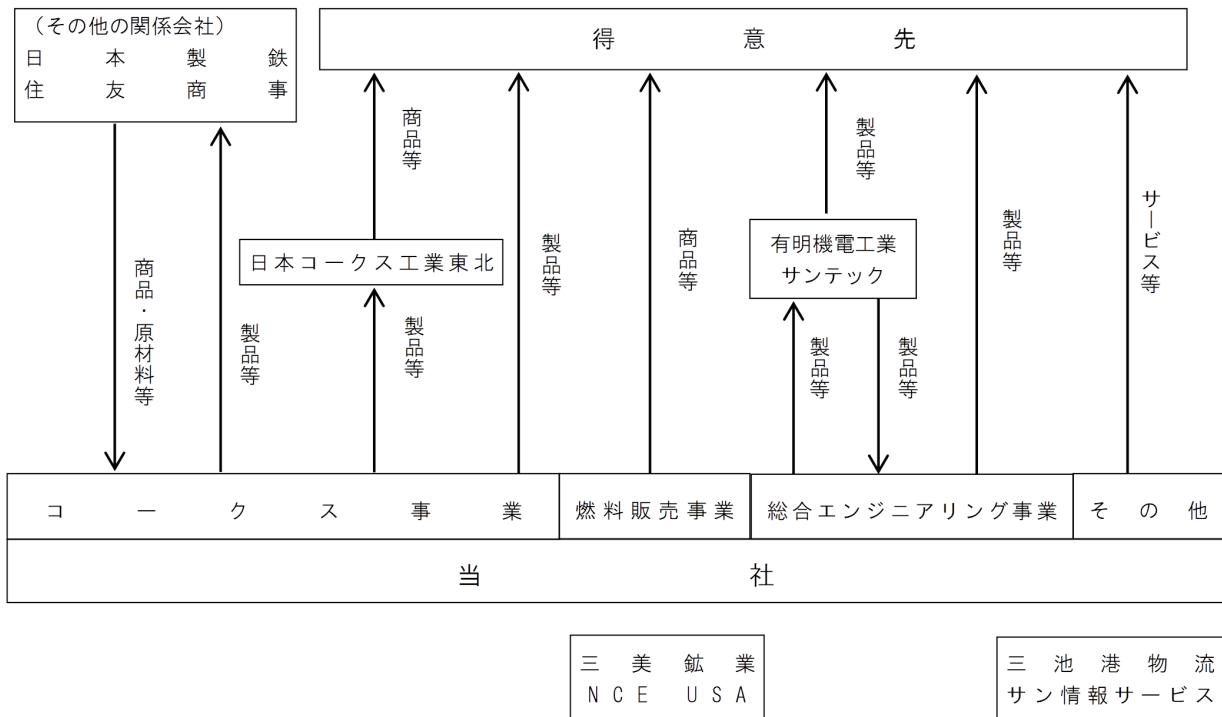
2. 企業集団の状況

当社グループは、当社および当社の子会社8社とその他の関係会社である日本製鉄株式会社・住友商事株式会社で構成されており、コークスの製造・販売、一般炭および石油コークスの仕入・販売並びにコールセンター事業、粉粒体機器・装置の製造・販売などを主に営んでおります。

当社グループの事業に係わる位置付けおよびセグメントとの関連、その概要図は次のとおりであります。

セグメント	主要な事業	主要な会社
コークス事業	コークスの製造・販売	当社、日本コークス工業東北 (会社総数2社)
燃料販売事業	一般炭および石油コークスの仕入・販売、 コールセンター事業	当社、三美鉱業 (会社総数4社)
総合エンジニアリング事業	化学装置・機器、一般産業用機器、プラントの製造・販売、産業廃棄物処理およびリサイクル	当社、有明機電工業、サンテック (会社総数3社)
その他	運輸荷役、不動産販売・賃貸、その他	当社、三池港物流、サン情報サービス (会社総数3社)

(注1) 各セグメントごとの会社数の算定において、当社は重複して数えております。



### 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。



## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,873	5,713
受取手形及び売掛金	10,627	9,599
商品及び製品	8,308	7,340
仕掛品	969	1,066
原材料及び貯蔵品	10,333	7,808
その他	1,409	606
貸倒引当金	△4	△31
流動資産合計	35,518	32,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,697	23,316
減価償却累計額	△14,791	△15,352
建物及び構築物（純額）	7,906	7,963
機械装置及び運搬具	89,390	94,097
減価償却累計額	△68,202	△72,496
機械装置及び運搬具（純額）	21,187	21,600
土地	34,595	34,377
建設仮勘定	1,072	329
その他	1,808	1,901
減価償却累計額	△1,203	△1,261
その他（純額）	605	640
有形固定資産合計	65,367	64,911
無形固定資産		
その他	455	380
無形固定資産合計	455	380
投資その他の資産		
投資有価証券	702	863
繰延税金資産	2,942	2,747
その他	1,327	1,155
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,962	4,756
固定資産合計	70,785	70,048
資産合計	106,304	102,151

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,310	10,901
短期借入金	7,677	7,029
未払法人税等	298	1,556
賞与引当金	745	820
関係会社整理損失引当金	341	342
受注損失引当金	273	7
その他	4,954	6,736
流動負債合計	28,601	27,393
固定負債		
長期借入金	22,909	16,059
退職給付に係る負債	3,185	3,092
役員退職慰労引当金	52	59
環境対策引当金	3,354	3,341
関係会社整理損失引当金	53	53
その他	958	1,045
固定負債合計	30,513	23,651
負債合計	59,115	51,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	39,872	43,549
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	47,413	51,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	183
退職給付に係る調整累計額	△197	△167
その他の包括利益累計額合計	△224	15
純資産合計	47,188	51,106
負債純資産合計	106,304	102,151

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	107,408	87,883
売上原価	100,011	75,126
売上総利益	7,396	12,757
販売費及び一般管理費		
積揚地諸掛	1,041	1,145
給料及び賃金	877	864
その他	3,870	3,748
販売費及び一般管理費合計	5,788	5,758
営業利益	1,607	6,999
営業外収益		
保険差益	368	93
助成金収入	8	37
その他	91	72
営業外収益合計	469	203
営業外費用		
支払利息	362	280
環境対策引当金繰入額	484	215
租税公課	86	86
その他	154	167
営業外費用合計	1,087	749
経常利益	989	6,452
特別利益		
固定資産売却益	105	58
その他	5	5
特別利益合計	110	64
特別損失		
固定資産除却損	783	708
投資有価証券評価損	—	107
その他	104	102
特別損失合計	887	918
税金等調整前当期純利益	212	5,598
法人税、住民税及び事業税	330	1,494
法人税等調整額	△146	135
法人税等合計	184	1,630
当期純利益	28	3,968
親会社株主に帰属する当期純利益	28	3,968

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	28	3,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	211
為替換算調整勘定	△159	—
退職給付に係る調整額	13	29
その他の包括利益合計	△190	240
包括利益	△162	4,208
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△162	4,208
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,000	1,750	40,710	△1,209	48,251
当期変動額					
剰余金の配当			△873		△873
親会社株主に帰属する当期純利益			28		28
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
連結範囲の変動			6		6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	△838	△0	△838
当期末残高	7,000	1,750	39,872	△1,209	47,413

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	17	—	159	△210	△34	48,217
当期変動額						
剰余金の配当						△873
親会社株主に帰属する当期純利益						28
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						—
連結範囲の変動						6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△44		△159	13	△190	△190
当期変動額合計	△44	—	△159	13	△190	△1,029
当期末残高	△27	—	—	△197	△224	47,188

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,000	1,750	39,872	△1,209	47,413
当期変動額					
剰余金の配当			△291		△291
親会社株主に帰属する当期純利益			3,968		3,968
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△0	0	0
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	3,677	△0	3,677
当期末残高	7,000	1,750	43,549	△1,209	51,090

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△27	—	—	△197	△224	47,188
当期変動額						
剰余金の配当					—	△291
親会社株主に帰属する当期純利益					—	3,968
自己株式の取得					—	△0
自己株式の処分					—	0
連結範囲の変動					—	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	211			29	240	240
当期変動額合計	211	—	—	29	240	3,917
当期末残高	183	—	—	△167	15	51,106

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	212	5,598
減価償却費	5,895	6,015
減損損失	48	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96	74
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△134	△50
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△39	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	6
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	211	△12
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	264	△265
受取利息及び受取配当金	△28	△14
保険差益	△368	△93
支払利息	362	280
為替差損益 (△は益)	△1	0
固定資産除却損	783	708
固定資産売却損益 (△は益)	△86	△56
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	107
売上債権の増減額 (△は増加)	3,309	1,028
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,899	3,396
その他営業資産の増減額 (△は増加)	△137	25
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,609	△3,409
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△575	1,098
その他営業負債の増減額 (△は減少)	△936	937
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	52	195
その他	9	2
小計	8,029	15,601
利息及び配当金の受取額	28	14
利息の支払額	△363	△281
法人税等の支払額	△1,507	△42
保険金の受取額	273	211
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,460	15,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△37	△36
定期預金の払戻による収入	37	36
固定資産の取得による支出	△6,507	△5,609
固定資産の除却による支出	△599	△639
固定資産の売却による収入	448	288
投資有価証券の取得による支出	△0	△10
その他の投資の回収による収入	19	126
その他	△5	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,644	△5,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,830	20,520
短期借入金の返済による支出	△8,200	△21,150
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△7,068	△7,067
社債の償還による支出	△16	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△873	△291
その他	△13	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,341	△7,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△7,526	1,839
現金及び現金同等物の期首残高	11,350	3,806
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△18	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,806	5,645



（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

連結の範囲に関する事項

連結子会社

連結子会社の数 6社

主要な連結子会社の名称

三池港物流㈱、有明機電工業㈱、三美鉱業㈱、サンテック㈱

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱製商品・サービスの類似性等に基づいて事業を区分しており、各事業部門は主体的に、取り扱う製商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製商品・サービス別のセグメントから構成されており、「コークス事業」「燃料販売事業」「総合エンジニアリング事業」の3つを報告セグメントとしております。

「コークス事業」は、コークスの製造・販売を行っております。「燃料販売事業」は、一般炭および石油コークスの仕入・販売やコールセンター事業を行っております。「総合エンジニアリング事業」は、化学装置・機器等の製造・販売およびメンテナンスや産業廃棄物の収集・運搬および処理等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニア リング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上 高	68,460	23,090	11,113	102,663	4,744	107,408	—	107,408
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	1	1,395	1,396	348	1,745	△1,745	—
計	68,460	23,091	12,508	104,060	5,093	109,153	△1,745	107,408
セグメント利益	△811	1,656	1,590	2,435	633	3,068	△1,460	1,607
セグメント資産	63,331	6,772	8,728	78,831	15,007	93,838	12,465	106,304
その他の項目								
減価償却費	5,189	51	226	5,467	339	5,807	88	5,895
減損損失	—	—	—	—	48	48	—	48
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	5,136	17	515	5,669	742	6,411	80	6,492

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,460百万円は、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,481百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額12,465百万円は、セグメント間取引消去△483百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産12,948百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益およびセグメント資産は、連結財務諸表の営業利益および資産合計と調整を行っております。

4. 減価償却費には、長期前払費用の償却費が含まれております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニア リング事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上 高	55,950	17,494	10,219	83,663	4,220	87,883	—	87,883
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	7	1,429	1,437	291	1,729	△1,729	—
計	55,950	17,501	11,648	85,100	4,511	89,612	△1,729	87,883
セグメント利益	5,411	1,307	1,435	8,154	377	8,531	△1,532	6,999
セグメント資産	60,684	5,113	8,417	74,215	14,993	89,208	12,943	102,151
その他の項目								
減価償却費	5,266	50	274	5,591	330	5,921	94	6,015
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	5,122	16	303	5,443	241	5,685	36	5,722

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,532百万円は、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,545百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額12,943百万円は、セグメント間取引消去△732百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産13,675百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益およびセグメント資産は、連結財務諸表の営業利益および資産合計と調整を行っております。

4. 減価償却費には、長期前払費用の償却費が含まれております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	162.14円	175.61円
1株当たり当期純利益金額	0.10円	13.63円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	47,188	51,106
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
(うち非支配株主持分 (百万円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	47,188	51,106
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	291,029,722	291,028,684

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	28	3,968
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	28	3,968
期中平均株式数 (株)	291,030,274	291,029,253

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、本日開示の「役員の異動に関するお知らせ」をご参照下さい。